

公表

事業所における自己評価総括表（保育所等訪問支援）

○事業所名	キッズいちえ		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2025年 5月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2025年 5月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2025年 5月 15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高い訪問支援員が園や学校に訪問し、連携を図ることが出来ること	TEACCH上級コンサルタントの資格を持つスタッフが訪問支援員として配置しており、訪問場所や課題に応じて視覚支援・構造化についてアドバイスすることが出来る	視覚支援・構造化について分かりやすく先生方にお伝えできるように資料を作成することや訪問支援員として知識・技能を高める取り組みを行う
2	多機能型事業所として放課後等デイサービス・児童発達支援と保育所等訪問も併用して利用することが可能	訪問先での課題を療育に取り入れたり、療育の様子を訪問先の先生方にお伝えすることで、今後の対応や目標を共有しながら支援をしている	訪問先とのカンファレンスを開催する等、支援者が集まり情報共有できる場を作る。またキッズいちえに見学に来てもらう等、療育の場の様子も見てもらえるような機会を提案する
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問日と訪問時間が限定的で少ないこと	多機能事業所である為、保育所等訪問に行ける時間と人が少なく、時間が限定的になってしまっている	課題や目標を明確にし、先を見通したアドバイスをできるようにする
2	訪問支援員が普段の療育の様子を把握できる機会が少なく、訪問先の様子のみで対応する必要があること	訪問支援員が非常勤であり、児童発達支援・放課後等デイサービスにも携わっているものの、勤務曜日が限られている為、訪問希望者全員の療育の様子を把握することが難しい	訪問支援員が療育の様子を把握できるように日時の調整を出来るだけ行うとともに、担当スタッフによる情報共有を丁寧に行うことで、滞りなく支援が出来るようにする
3			